

2018年11月26日

SDGs経営／ESG投資研究会

資料6

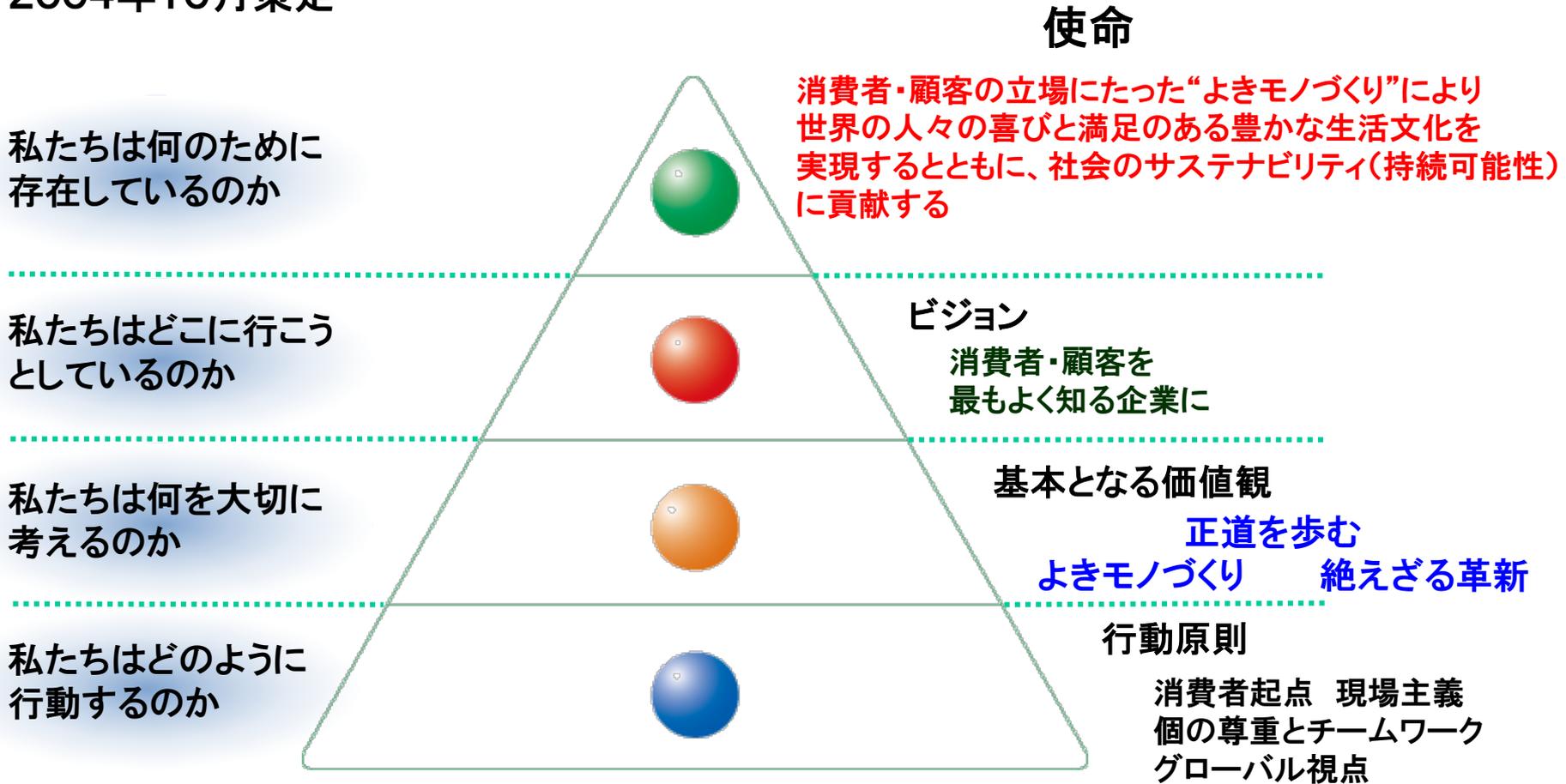
花王らしいESG活動

花王株式会社
代表取締役 社長執行役員

澤田 道隆

花王グループの企業理念(花王ウエイ)

2004年10月策定



花王グループメンバーの原点であり、道しるべ

ESG視点の「よきモノづくり」

コーポレートガバナンス

持続的な利益ある成長

→ 社会の公器
ステークホルダー還元

社会に役立つ

人と人、人と地球、人と社会とのつながりを強める

モノづくり

花王Gメンバー

リーダー(経営者)

ESG視点の「よきモノづくり」

コーポレートガバナンス

持続的な利益ある成長

→ 社会の公器
ステークホルダー還元

社会に役立つ

人と人、人と地球、人と社会とのつながりを強める

モノづくり

- (1) ビジネスに結びつける
- (2) 本質的に捉える

花王Gメンバー

リーダー(経営者)

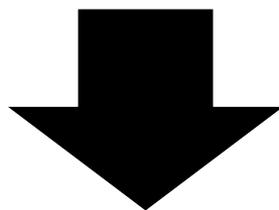
E : Environmental 環境
S : Social 社会
G : Governance ガバナンス



Public Private ACTION for Partnership!!

～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
その主役はあなたです!～

領域	貢献するSDGs
エコロジー	12・13・14・15
コミュニティ	3・5・6
カルチャー	8・10・16
全体共通	17



**長期的な企業価値向上につながり
「グローバルで存在感のある会社」の実現へ**

- (1) 攻めのESG
- (2) グローバルな取り組み
- (3) 花王らしい活動

コスト → 投資

米国人が統括

Kirei Action

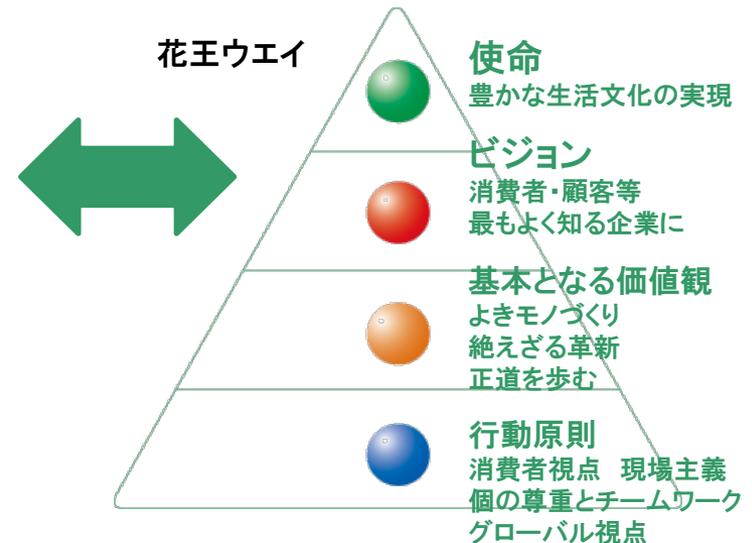
キーメッセージ

「きれいを、こころに。未来に。」

Kirei—Making Life Beautiful

- (1) 思いを込めたモノづくりが「コト」を創造し、「ココロ」に届く
- (2) 届けた製品を最後までフォロー

自然と調和する
こころ豊かな毎日を目指して



kao

私たちの プラスチック 包装容器宣言

私たちが、自然環境を損なうことなく、
こころ豊かな暮らしを実現する、
な提案をしていきます。

めざす姿

私たちは、すでに自然界に
排出されてしまった
プラスチックについても、
回収され、再生されるべきである
と考えます。

私たちは、プラスチックは、
自然界に排出されるべきでは
ないと考えます。
また、すべてのプラスチックは、
小さなことから、
再利用、またはリサイクルされる
べきであると考えます。

kao

の人々の豊かな生活文化を
もに、地球環境をはじめとする、社会の
ディに貢献することをめざしています。

の包装容器は、汎用性、柔軟性を
、花王製品において重要な役割を
をす。
プラスチックの過度な使用は、
が影響が懸念されるため、
も、また、生活者にとっても、
適の課題となっています。

にむかひたり、自然と調和しながら、
こころ豊かな暮らしに貢献することを
した。
花王製品の包装容器が
なることのないよう、
届けることも、
をたと考えています。

は、自然環境を損なうことなく、
こころ豊かな暮らしを実現する、
な提案をしていきます。

めざす姿

私たちは、すでに自然界に
排出されてしまった
プラスチックについても、
回収され、再生されるべきである
と考えます。

私たちは、プラスチックは、
自然界に排出されるべきでは
ないと考えます。
また、すべてのプラスチックは、
小さなことから、
再利用、またはリサイクルされる
べきであると考えます。

kao

を根本から革新します。

前により、
をします。
プラスチックの
地球が
プラスチック量の
たり、
うな取り組みを

- 包装容器の循環型社会をめざして、
広く連携を進めます。
- プラスチックへの取り組みの進捗を、
毎年、責任をもって報告します。

これらは、花王単独でできることでも、
また一朝一夕にできることでもありません。
花王が考えるプラスチックの課題解決に
向けた取り組みを、同じ思いをもつ
企業や団体とともに進めていきたいと
考えています。

な
イノベーションを起こすような取り組みを、
をします。

Replace (置き換える)

量化したリ
化して容積
ることにより、
をします。

石油由来のプラスチックから、
より低炭素で再生可能な植物由来など、
持続可能な原料への転換を
図っていきます。

Recycle (リサイクルする)

容器を繰り返し
つけかえ用
の包装容器を

プラスチック包装容器に再生樹脂を
積極的に導入するとともに、
暮らしの中のリサイクルしやすい
包装容器の開発に取り組んでいます。

kao

サイクル全体を通じて、環境負荷の低減に
着視点の包装容器開発を通じて、プラスチック

プラスチック削減のカービは、本体容器に
比べてプラスチックの使用量がずっと
少ない「つかえ用製品」が、日本において、
生活習慣として定着したことです。

シャンプーの場合

の原材料は削減してきましたが、
プラスチックの総使用量は増加しました。
以上で強い決意をもって、
り取り組んでいます。

投資を行ないながら、
的に進化させる必要があります。
一と連携しながら、
を無理なくリサイクルできるような仕組み

って、自然環境を損なうことなく、
うな包装容器を開発していきます。

kao

発の取り組み

容器は、製品の中身を保護し、輸送や使用などの際に、
ることは、もはや許されない状況になっています。
のような取り組みに注力していきます。

できる、フィルムタイプの包装容器の開発
によるフィルムタイプの包装容器の開発
の普及

の挑戦

スマートホルダー
スマートホルダーと
より、つかえ用製
品が本体をのめ
として使用可能に

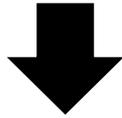
リサイクル可能な
単一素材フィルム
容器

次のイノベーション
100%リサイクル可能な
単一素材フィルムから
つくられた、本体容器
として使われるフィルム
容器、環境負荷はつめ
かえ用製品と同様。

さらに進化させていきます。
単一素材フィルムからつくる
生をもつと考えています。

「きれいにする」ことの本質

洗淨＝汚れを落とす



(豊かであつすぐに消える泡)



時短(家族団らん)



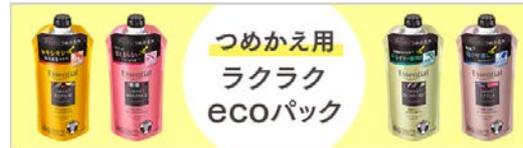
家族の役に立つ



節水、省エネ

簡単、便利にきれいにする

(詰め替えのイノベーション)



プラスチック使用量削減
詰め替えやすい(UD視点)
中味の残りが非常に少ない

ワクワクしながらきれいにする

(3D形状の泡 ハンドウォッシュ)



手洗いの習慣化

きれいの魔法

思い出の場所をきれいにする

(マジックリンぴかっと輝くシート)



感謝の気持ちが醸成

卒業時に教室などを掃除

ESG視点の「よきモノづくり」

コーポレートガバナンス

持続的な利益ある成長

→ 社会の公器
ステークホルダー還元

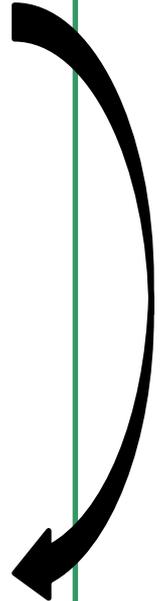


社会に役立つ

人と人、人と地球、人と社会とのつながりを強める



モノづくり



花王Gメンバー



リーダー(経営者)

最大の資産は「ヒト」
⇒ 健康経営
社員と家族の健康維持
(GENKIプロジェクト)

KaO

自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして